

ち  
時々  
最高気温  
最低気温  
降水確率  
は50%以上  
風の向き  
は無風

こよみは下に掲載

味ひとすじ むかし  
**ひ乙相**

新京極四条上・でんわ 221-2412

**京都**

丹波・丹後

# 橋、トンネル〃維持のプロ〃養成

## 舞鶴高専が教育センター

舞鶴高専(舞鶴市白屋、太田泰雄校長)は23日、橋やトンネルなど、老朽化したインフラの維持管理を学ぶ「社会基盤メンテナンス教育センター」を開設した。全国の国公立高専で初めて。「維持のプロ」養成が目的で、実際に傷んだ橋のコンクリートや鉄骨を教材に実践的な授業をする。自治体や民間の技術者の研修も受け入れ、地域インフラを守る人材を地域で育てる研究教育拠点とする。

【鈴木健太郎】

高度成長期や以降の建設 フームに作られた社会インフラの老朽化が進む一方、



全国初の開設 自治体、民間も研修可

のプロの需要が高まっている。

こうした流れの中、同校では建設システム工学科に橋のメンテナンス工学の講義を設け、府と共同で「橋の維持管理」をテーマにした研修会を開くなどしてきた。その蓄積を生かす形で実践教育をする場としてセンターを設置した。

講義は5年生と専攻科生のほか、自治体・民間の技術者を対象に、1回につき1泊2日〜2泊3日の日程



社会基盤メンテナンス教育センター」のレクチャーを開幕する開所式の出席者

で実施。当面は橋に絞り、座学のほか、独立行政法人土木研究所や国、企業の協力で入手した構造物のコンクリート片や鉄筋、鉄骨の一部を教材にし、経年劣化や初期欠陥の仕組み、その防止法なども学ぶ。

この日の開所式には国や府、市、全国の高専関係者ら約30人も出席し、レクチャールームを除幕して祝った。指導に当たる玉田和也教授は「『作る』から『守る』へのシフトの中、点検、維持の専門家を育て、その技術をさらに発展させてい」と話している。